



「カーナ・カザナの日」学校給食でインド料理を提供

東京2020オリンピック大会に向け、インドとの交流活動の一環として、インドの文化について知識、関心を深めることを目的に、2月27日は仁多地域、2月28日は横田地域の小中学校を対象にカーナ・カザナの日として学校給食でインド料理が提供されました。「カーナ・カザナ」とは、ヒンディー語で食事を通して宝を発見するという意味を持ちます。

この日のために、インド出身の国際交流員グルン・エナさんのアドバイスのもと、町内の栄養士と調理師が「小中学生の口に合うスパイスの量はどれくらいか?」と、馴染みの薄いスパイスと格闘しながら事前調理を行い、カーナ・カザナの日の献立を決めました。当日、エナさんは三成小学校を訪れ、スパイスサイズを通して、インド料理に使用されるスパイスを紹介し、児童の皆さんと給食を食べられました。児童の一人は「おいしかったのは、ピラフとスープとお魚と・・・全部!!」と話し、異国の味と独特の香りを堪能しました。



▲インド料理を楽しむ児童の皆さん



インド料理に使用するスパイスは、豊かな香りのほか、健康への効果もあります。今回、給食で使用されたスパイスは…

★クミンシード

鉄分の宝庫、風邪の治療、食欲増進や消化促進

★ターメリック

胃痛と腸内ガスの緩和

国際交流員
グルン・エナさん



▲子どもたちが食べたインド給食

!!おめでとうございます!!

仁多特産市

雲南農業振興協議会から表彰状を授与

2月12日、仁多特産市が生産履歴簿の提出を義務化するなど、安心安全な農産物を届けることに意欲的に取り組み、地域の活性化に努めたことを称え、雲南農業振興協議会から表彰状が贈られました。生産履歴簿は、播種・定植・収穫の日や、使用した肥料・堆肥と農薬の名前など野菜の成長過程を細かく記録したものです。仁多特産市の川西店長は「農産物を納める特産市出荷協議会の皆さんに生産履歴簿の提供をご協力いただくことで、安心安全な野菜を自信を持ってお届けできる」と話されました。



▲仁多特産市のスタッフの皆さんと特産市出荷協議会藤原会長(1列目左)

井上唐木株式会社 井上敬行さん 島根県優秀専門技能者に認定

2月6日、井上唐木株式会社の井上敬行さんが10年以上の実績が評価され、島根県優秀技能者ふるとして伝統工芸品・特産品技能者部門で県から島根県優秀専門技能者に認定されました。明治40年に兵庫県で開業した井上唐木株式会社は、現在、原木・材料販売、オリジナル製品製造、委託加工、修理を行われています。平成5年には、父親である昌一さんも同称号を得ておられ、この度、敬行さんも認定され、親子2代での快挙となりました。



▲島根県優秀専門技能者に認定された井上敬行さん

観光振興

本町の魅力ある自然・歴史・文化、食などの地域資源をSNSの活用により情報発信を行います。特に「日本農業遺産」への認定を絶好の機会と捉え、農泊推進協議会を中心に農業体験が楽しめるツアーの提供に引き続き取り組みます。亀嵩温泉、斐乃上温泉、佐白温泉の三つの温泉施設の連携を更に強化します。特に斐乃上温泉については美肌温泉としての効能を活用した商品開発に着手し、亀嵩温泉については、グランピング体験ができるイベントの開催や、玉峰山遊歩道の散策のためのガイド育成など誘客促進に努めてまいります。

林業振興

森林環境譲与税については、森林整備において直面する様々な課題に対して自治体が適切な対応を行えるよう、交付が開始されました。二年目は、モデル団地を1団地選定し、「新たな森林管理システム」の手法による施業管理を試行的に実施します。また、交付額が当初計画より前倒しで増額されることとなり、航空レーザ計測による森林資源データの把握など、スマート林業の実施にも早期着手が可能になると考えています。令和2年度調査事業については、令和3年度末で進捗率は約43%です。所有者不明土地や境界が分からない山林が増えている状況があります。

結婚・出産・子育て

妊産婦から子育て期にわたる母子保健サービスとして子育て支援センターをワンストップで提供するため、4月より健康福祉課内に「子育て世代包括支援センター」を設置します。センターでは、不妊相談、妊娠時及び出産時の相談や訪問事業などに加え、産婦健診、産前産後サポート事業及び産後ケア事業など切れ目のない支援を行うてまいります。子育て支援については、令和2年度から5ヶ年間で実施期間とした「奥出雲町子ども・子育て支援事業計画(第2期)」を策定しました。

消防防災

子育て世代が仕事と子育てを両立し、安心して子どもを産み育てるための支援を、関係課が連携し取り組んでまいります。なお、ニーズ調査でご要望が多かった屋内型キッズスペースを鳥上幼稚園に整備し、子育て世代が子どもと触れ合う全天候型の環境を整え、その効果などを検証してまいります。

スポーツ・文化振興

スポーツ振興については、東京オリンピック・パラリンピックの開催が迫り、11名の横田高校出身の選手がホッケー日本代表を目指し頑張っておられます。他にも剣道や自転車、相撲、スキー競技での国体出場など、奥出雲町関係者の活躍はめざましく、今後も各種スポーツの振興に取り組みてまいります。また、5月17日には、本町で聖火リレーが実施されますので、町民の皆様のご声援をお願いします。

インドホッケーチームの事前キャンプ招致については、これまで積極的な働きかけを行いましたが、国際大会の開催日程などから実施が難しい状況となりました。今後、は、オリンピック応援ツアーの実施や、子ども達を中心とした交流など、インドとの交流活動を引き続き働きかけてまいります。一方で、日本男子ホッケー代表チーム「サムライジャパン」の奥出雲町でのオリンピック事前強化合宿実施に向け調整しており、強化期間中にはホッケースクールなどの交流の機会も設ける計画です。

めたところでは、町民の皆様を意識も年々高まっていることから、地域防災力の充実・強化を図るため、防災士資格の取得促進に向けた助成制度を創設し、防災意識の高揚を図ってまいります。



東京オリンピック候補選手の横断幕



消防出初め式



広報 奥出雲 4 古民家オフィスみらいと奥出雲